



平成29年9月14日

各 位

上場会社名 株式会社 ショクブン
 代表者 代表取締役社長 黒川 真太郎
 (コード番号 9969)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 田澤 友英
 (TEL 052-773-1011)

業績予想の修正及び配当予想の修正(無配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成29年9月14日開催の取締役会において、配当予想について以下のとおり修正することを決議しましたので、併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,244	47	28	1	0.13
今回修正予想(B)	4,046	△529	△549	△1,114	△116.05
増減額(B-A)	△197	△577	△577	△1,115	
増減率(%)	△4.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	4,238	58	36	3	0.36

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,082	235	200	142	14.86
今回修正予想(B)	8,113	△486	△529	△1,116	△116.28
増減額(B-A)	△968	△721	△729	△1,259	
増減率(%)	△10.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	8,791	192	147	101	10.57

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,239	17	29	12	1.35
今回修正予想(B)	4,041	△559	△548	△1,120	△116.64
増減額(B-A)	△197	△577	△577	△1,133	
増減率(%)	△4.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	4,233	28	37	15	1.58

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,069	173	170	131	13.66

今回修正予想(B)	8,100	△547	△558	△1,128	△117.48
増減額(B-A)	△968	△721	△729	△1,259	
増減率(%)	△10.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	8,778	131	118	90	9.40

修正の理由

1. 第2四半期連結累計期間業績予想

当第2四半期連結累計期間につきましては、当社グループは全社員が基本に立ち返って経営体制全般に渡って見直しを図っておりますが、景気の不透明感等による節約志向や、人手不足の雇用環境における要員不足などにより、売上高は前回予想を下回り、40億46百万円となる見込みです。

利益面では、品不足による仕入価格の高騰などが影響し、厳しい経営環境で推移いたしました。また、一時金を販売費及び一般管理費で計上することもあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回予想を下回り、5億29百万円の営業損失、5億49百万円の経常損失、加えて、一部営業所における減損損失の計上による特別損失を計上することもあり、11億14百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となる見込みです。

2. 通期業績予想

通期の業績見通しは、第2四半期連結累計期間業績及び直近の実績も踏まえ、減額修正するものであります。

売上高につきましては、81億13百万円に、利益につきましては、経費削減の施策を実行することでコストダウンを見込んでおりますが、一時金を販売費及び一般管理費で計上することもあり、4億86百万円の営業損失、5億29百万円の経常損失となる見込みです。加えて、一部営業所における減損損失の計上による特別損失を計上することもあり、11億16百万円の親会社株主に帰属する当期純損失にそれぞれ修正いたします。

今後につきましては、個人客向けの宅配システムの改善、メニューのリニューアルをはじめ、仕入業務効率化の一層の推進等の取り組みを着実に進め、売上・利益の向上に努めてまいります。

3. 個別の第2四半期累計期間業績及び通期業績予想につきましても、連結と同様の理由によりそれぞれ修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (29年5月10日発表)	—	5.00	—	5.00	10.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成29年3月期)	—	6.00	—	6.00	12.00

修正の理由

当社は、株主様に対する利益還元を経営の最重要課題として位置付けており、配当政策は、長期的かつ安定的な配当の実現を基本方針としております。

平成30年3月期の業績予想は、親会社株主に帰属する当期純損失となる見込みです。係る状況に鑑み、経営資源を事業活動に集中し、業績の早期回復を最優先とするため、誠に遺憾ではございますが、中間、期末配当を見送らせていただくことといたしました。

※業績予想等につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上